

みずほCustomer Desk Report 2018/12/06号(As of 2018/12/05)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.89
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.70	1.1343	127.83	1.2718	0.7346
SYD-NY High	113.24	1.1361	128.46	1.2798	0.7355
SYD-NY Low	112.65	1.1312	127.79	1.2672	0.7260
NY 5:00 PM	113.19	1.1345	128.41	1.2736	0.7270
NY DOW	-	-	日本2年債	-0.1400	▲1.00bp
NASDAQ	-	-	日本10年債	0.0700	1.00bp
S&P	-	-	米国2年債	-	-
日経平均	21,919.33	▲116.72	米国5年債	-	-
TOPIX	1,640.49	▲8.71	米国10年債	-	-
シカゴ日経先物	21,865	255	独10年債	0.2750	1.45bp
ロンドンFT	6,921.84	▲100.92	英10年債	1.3125	3.45bp
DAX	11,200.24	▲135.08	豪10年債	2.4955	▲3.75bp
ハンセン指数	26,819.68	▲440.76	USDJPY 1M Vol	5.83	▲0.42%
上海総合	2,649.81	▲16.15	USDJPY 3M Vol	6.61	▲0.32%
NY金	1,242.60	▲4.00	USDJPY 6M Vol	7.25	▲0.18%
WTI	52.89	▲0.36	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	183.75	▲0.39	EURJPY 3M Vol	8.28	▲0.10%
ドルインデックス	97.02	0.06	EURJPY 6M Vol	8.80	▲0.09%

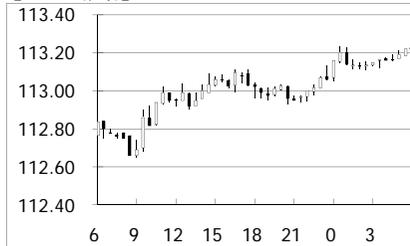
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月5日	09:30	豪 GDP(前年比)	3Q 2.8%	3.3%
	17:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	11月 53.3/52.3	53.3/52.2
	18:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	11月 50.4/50.7	52.5/52.1
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	10月 0.3%	0.2%
12月6日	04:00	米 ペーリュック「大半の地区が緩まないし緩やかな景気拡大」		

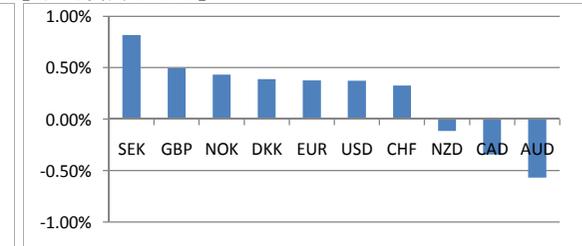
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月6日	10:15	米 クオールズFRB副議長 講演	-	-
	16:00	独 製造業受注(前月比)	10月 -0.4%	0.3%
	17:30	独 マークイット建設業PMI	11月 -	49.8
	22:15	米 ADP雇用統計	11月 195k	227k
	22:30	米 貿易収支	10月 -\$55.0b	-\$54.0b
	22:30	米 新規失業保険申請件数	-	225k
	23:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	11月 54.4/-	54.4/54.4
12月7日	00:00	米 ISM非製造業指数	11月 59.0	60.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.40-113.60	1.1300-1.1400	127.50-129.50

【マーケット・インプレッション】

昨日夜間のドル円は小じつかり。米株式・債券市場が休場の中、アジア時間の流れを継いだドル買い円売りに支えられるも上値は限定的。本日はOPEC総会を控え原油を始めとするリスク資産の値動きを見ながら、ドル円は上値追いはならず113円前半で底堅く推移すると予想。米10月貿易収支、米11月ISM非製造業など重要な経済指標も多く発表を控えており、指標次第のスタンスとなったFRBの今後の利上げを占う材料を確認しておきたいところ。しかし、OPEC総会で協調減産に失敗、または弱い指標が並んだ場合には再度112円台前半～半ばまでドル円が下落するリスクには警戒が必要だろう。

東京	オセア7時間、安値112.65をつけたドル円は112.70レベルで東京時間オープン。安寄りした日経平均株価がじりじりと下げ幅を縮小する中、ドル円も底堅い展開となり、113.09まで上昇。結局、113.06レベルで海外に渡った。また、豪州7-9月期GDP(前年比)が発表され、実績2.8%(予想3.3%)と予想対比悪化となったことから豪ドルは0.73台半ばから0.7295まで急落。その後も上値を試す展開とはならず、0.7292レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は113.06レベルでオープン。米国市場休場の中、ドル円は動意薄く推移。ロンドン時間の値幅は112.93-113.11と狭いレンジでの取引に終始し、113.00レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1325レベルでオープン。本日公表された独PMIはおおむね市場予想通りの結果。欧州金利が小幅に低下する中、ユーロは堅調に推移し、ユーロドルは1.1358まで上昇し、1.1356レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は五・十日のドル買い需要や日経平均の下げ渋りが意識される中、113円台を回復。「中国が米国産大豆と液化天然ガスの輸入再開を検討」とのヘッドラインに一時113.11まで上昇するが、その後は113.00を挟んで小動きとなり、そのまま113.00レベルでNYオープン。本日はブッシュ元大統領の追悼で米国の株式・債券市場が休場となっており、為替市場も参加者が少なく閑散取引となる。NY朝方はダウ先物の上昇を手掛りに113.23まで上昇。NY午後は米地区連銀経済報告(ペーリュック)が公表され、大半の地区が緩まないし緩やかな景気拡大を報告したが、目立った材料は無く、ドル円の反応は限定的。NY終盤は高値113.24まで上昇する場面も見られたが、小動きとなり113.19レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1356レベルでNYオープン。NY朝方はドル買い優勢の展開で1.1312まで下落するが、この水準ではユーロ買い意欲も見られ、1.1359まで反発。NY午後は材料難から1.13台半ばで小動きとなり、結局1.1345レベルでクローズ。なお本日、BOCがカナダ中銀が政策金利を市場の予想通り1.75%で据え置きと発表。しかし、来月の利上げに対して慎重な姿勢を示したことから、カナダの利上げ観測が後退しカナダドル全面安の展開となった。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:岡本・田家